

令和3年度九州運輸局地域公共交通に関する第三者評価委員会

令和4年2月24日(木) 9:30~12:30

TKPガーデンシティ博多新幹線口3階3-B(オンライン併用)

(1) 地域公共交通調査事業(計画策定)

【主な個別質問・意見】

(辰巳委員)

- ・数値目標はどのような考えで設定したか?コロナの影響は考慮したか?
- ・課題を踏まえてどのような事業を行っていくか対策がほしい。

(梶田委員)

- ・アンケート調査を実施するにあたって工夫した点は?
- ・Googleによる経路検索を高齢者がどのくらい使いこなせるだろうか?
- ・グループワークについては継続して実施してほしい。

(大井委員)

- ・グループワークに取組み、意見を集約していることは評価できる。
- ・学校へのアンケートについて、実際に利用している学生を対象としなかった理由は?
- ・4町合併によりそもそも生活圏が違う。鉄道の有無、市街地・過疎地などエリアによって状況が異なる。今後のまちづくりのあり方をどのように考えているか?

(行平委員)

- ・観光客のアンケート回答数が少ないがどのように実施したのか?
- ・アンケートに回答した者へのインセンティブはあったか?

(2) 地域公共交通調査事業(計画策定(トライアル推進事業))

【主な個別質問・意見】

(辰巳委員)

- ・10市町村共同の事業であり、意見の取りまとめが大変だったと思う。
- ・市町村間で温度差があったのでは?
- ・先進的なとりくみであり、今後広域で計画を策定する際の参考となる。ノウハウを他の自治体へ提供してほしい。

(梶田委員)

- ・市町村・県との連携。他分野との連携を上手くやってもらいたい。

(行平委員)

- ・広域の計画で事務局は非常に苦勞をされたと思う。敬意を表する。

(3) 地域公共交通利便増進事業（利便増進計画策定）

【主な個別質問・意見】

(辰巳委員)

- ・ 今回の計画対象エリアは一部となっている。今後計画を全域へ広げていくのか？
- ・ バスと航路の連携にあたってのハードルはあるか？

(梶田委員)

- ・ 料金設定にあたって住民の合意はとれているか？

(大井委員)

- ・ 3便目のみ予約制へ変更したようだが、利用の度合いはどのようになっているか？

(行平委員)

- ・ 予約制にすることへの住民の反発はあったか？

(4) 離島航路運営費等補助事業

【主な個別質問・意見】

(辰巳委員)

- ・ 新船導入により、快適性が向上したことは良いこと。
- ・ 大型化による船員増でコストが増加しているが、どこかでコストが増加した分を吸収できているか？
- ・ 引き続き安全を確保しつつ、コストを削減する努力をしてほしい。
- ・ 日本人観光客を増やす努力も必要。

(梶田委員)

- ・ 観光客取り込みの対策はできているか？

(大井委員)

- ・ インバウンド人数の把握は？

(行平委員)

- ・ ジェットfoilと一般の航路の棲み分けはあるか？

【前半総括】

(辰巳委員)

- ・ 4者ともコロナ禍の非常に厳しい状況の中、頑張っている。

(大井委員)

- ・ コストの話が強く出ている印象。後ろ向きなコストの話ではなく、前向きな投資であるという思

考ができていますか？

- ・現場にもっと目を向ける必要がある。手間をかけて意見を聞くことが重要。
- ・誰でも利用できるは必要か？薄く広くバラ撒けば良いというものではない。
公共交通への意識が高い地域は手厚くするといったメリハリも必要。

(行平委員)

- ・コロナ前のテーマは「とにかく観光客（特にインバウンド客）を増やそう」というものだったが、現状では厳しい。これから先の光を見たい。
- ・乗らないと航路（路線）が残らないという意識付けは大事。

(5) 地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統確保維持費国庫補助金）

【主な個別質問・意見】

(辰巳委員)

- ・目標の達成状況は厳しいが、コロナの影響を考えると仕方がない。
しかし、今は「コロナの影響」と言えば何でも許されるため、コロナを切り離れた部分での分析・検討が必要。

(梶田委員)

- ・目標値について、人口減少率を加味しているか？
- ・県内の各自治体のフォローできているか？

(行平委員)

- ・路線によって結果にバラつきがあり、一律にコロナの影響で整理することには違和感を覚える。
地域の実情に応じた分析が必要と考える。

(6) 地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金）

【主な個別質問・意見】

(辰巳委員)

- ・小学生の運賃無料化の利用実績は？とにかく一度乗ってもらうことは大事。
- ・路線ごとの分析はできているか？
- ・引き続き改善を図ることに期待する。また、体験乗車の取り組みは継続してほしい。

(梶田委員)

- ・新規利用者の取り込み案はあるか？
- ・ガイドブック掲載の飲食店と連携した割引などは行っていないか？

(行平委員)

- ・ガイドブックの作成は素晴らしい取り組みだと思う。

- ・ 航路とバスの乗り継ぎも記載されているが、乗り継ぎ時間が短い印象を受ける。考慮はされているか？

(7) 離島航空路

【主な個別質問・意見】

(辰巳委員)

- ・ 厳しい状況だが、とにかく航路を維持していくことが重要である。
- ・ 他地域との機材の共通化によりコストの削減が図れるが、見通しはあるか？

(梶田委員)

- ・ 各島の人口減少の影響とコロナウイルスによる影響に関係はあるか？
- ・ 今後の観光ネットワークの見通しはあるか？

(大井委員)

- ・ 外との乗り継ぎについて、ダイヤ改正の余地はあるか？

(行平委員)

- ・ コロナ後の奄美全体の観光振興策はあるか？

(8) 新モビリティサービス推進事業

【主な個別質問・意見】

(辰巳委員)

- ・ 本事業の MaaS のターゲットは？
- ・ コロナ後は再度、観光客もターゲットにしていくと思うが、現状ではミッシングリンクが発生している。コミバス等も巻き込んでよいのでは？
- ・ 受益者負担があっても良い。

(梶田委員)

- ・ 九州 MaaS は水平展開で上手く行きそうか？
- ・ アンケートの回収率は高いか？

(大井委員)

- ・ 非常に熱心にされている。効果検証これからということなので、しっかり行うこと。
- ・ 目的側からの評価が薄いのではないか？

(行平委員)

- ・ 本当に生活交通が必要な人が使えるかということも考えてほしい。

【後半総括】

(辰巳委員)

- ・ コロナの影響があり、その他の要素が見えづらい。
コロナの影響の部分、コロナ以外の部分の分析をしっかり行う必要がある。

(梶田委員)

- ・ アフターコロナも見据えながら、今後の目標値をどうするか検討が必要。
- ・ MaaS など技術的なものと連携も大事だが、アプリが多くなりすぎると難しい部分もある。

(大井委員)

- ・ コロナの影響はどのくらいの割合なのか？その他の部分の掘り起こしが必要。
プラスになるものを評価に記載してほしい。
- ・ 移動の先にある目的を上手く取り込むこと。

(行平委員)

- ・ 「実はコロナの影響では無かった」とならないように、今のうちにしっかりと分析が必要。
- ・ 事業の目的は何かというところに立ち返る必要がある。

(以 上)